

ふじおか義英県議会だより

県内高校生と意見交換する

「こんにちは県議会」に出席

県議会広報委員会が主催する、高校生との意見交換会に参加しました。高校生による長野県の課題解決や魅力発信のために何が必要かのプレゼンテーション、そしてグループディスカッションが行われました。

私たちのグループでは「空き家対策」「全県の高校生とつながる探究活動」をテーマに意見を交わしました。柔軟でかつ大胆な発言に驚かされました。高校生たちの主体的な取り組みや意見を県政に取り入れていくことの重要性を感じました。



「こんにちは県議会」高校生との意見交換会（12月7日）



一般質問に立ちました

子どもの医療費自己負担金についてでは、経済的な理由で定期通院を中断せざるを得ない喘息の3人の子どもを育てている母子家庭や、4歳のアトピー性皮膚炎の子が受診できずに悪化してしまった事例を紹介し、貧困対策としても500円の自己負担金の廃止を改めて求めました。健康福祉部長は、「無理のない額の範囲、将来にわたり持続可能な制度とするため負担をお願いしている」と答弁しました。

障がい者の医療費助成などについてでは、障がい者の98.1%が年収200万円以下の困窮状態であり、精神障がいも身体・知的障がいと同様に入院まで対象にすべきこと、障がい者医療費給付事業についても窓口負担を撤廃し現物給付をと求めました。

健康福祉部長は、精神障がい者の入院の助成について、「入院の長期化、増加を招く懸念がある」とし導入に消極的でした。窓口負担については「県や市町村の財政的負担が生じるため」とし、国に要望すると答弁しました。

障がい者など福祉医療の窓口無料はすでに全国30都道府県で実施されていること、県の障がい者共生条例に反する状態を改善し、県として実施を求めました。

情報公開請求に係る審査請求について質問。県が行政不服審査法に基づいた手続きを行っていなかった不適切な事務処理45件について、やり直しと請求人に対して何らかの対応を行うべきことを求めました。

決算特別委員会 令和4年度決算認定に反対の討論を行いました

令和4年度はコロナウイルスの感染拡大と物価高騰によって、苦しめられた一年となりました。しかし、医療機関への支援や、業者や県民生活への物価高騰対策について、県の施策は不

十分であったこと。財政調整基金や減債基金が積み増しされている中で、基金を取り崩してでも県独自の対策を行うべきだったと反対討論を行いました。

中部横断自動車道の未整備区間のルート案について一定の評価

事故が頻発しているオスプレイの飛行訓練の中止を国・米軍に要請すべきと追及

建設委員会では10月下旬に県が発表した中部横断自動車道の未整備区間（長坂～八千穂高原）のルート案（都市計画原案）について質問。

野辺山の優良農地を通る区間はその下をトンネルを掘って通過すること、国立天文台野辺山宇宙電波観測所の天体観測に影響が出ない様に距離をとったコースになったことについて地元

の声を反映させたものとして評価しました。

危機管理委員会では、11月29日に屋久島（鹿児島県）沖に墜落したオスプレイの飛行訓練について、県内上空で行わない様に、県として国と在日米軍に強く要請すべきだと求めました。



「県民の会」主催のリニアシンポでパネラーとして報告（11月15日・オンラインで参加）



長野県商工団体連合会のみなさんと懇談（11月16日）

日本共産党県議会報告

No 3 2024年1月 【2023年11月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

